

参考 診療報酬

歯科疾患管理料 口腔機能管理加算 ----- 100点

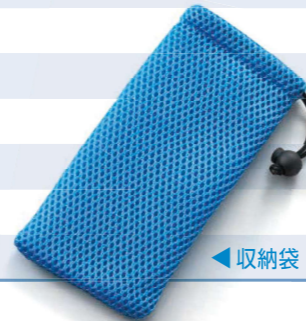
歯の喪失や加齢等により、口腔機能の低下を認める患者のうち、特に継続的な管理が必要な患者に対する評価

下位症状	検査項目	該当基準
① 口腔衛生状態不良	舌苔の付着程度 口腔粘膜潤度	50%以上 27未満
② 口腔乾燥	唾液量	2g / 2分以下
③ 咬合力低下	咬合力検査 残存歯数	200N 未満 20本未満
④ 舌口唇運動機能低下	オーラル・ディアドコキネシス(健口くん)	Pa / ta / ka いずれか1つでも6回 / 秒未満
⑤ 低舌圧	舌圧検査	30kPa未満
⑥ 咀嚼機能低下	咀嚼能力検査 咀嚼能力スコア法	100m g/dL未満 スコア0,1,2
⑦ 嚥下機能低下	嚥下スクリーニング検査(EAT-10) 自記式質問票(聖隷式嚥下質問紙)	3点以上 3項目以上該当

厚生労働省保健局医務課「平成30年度診療報酬の概要」より

■ 健口くん ハンディⅡ 本体仕様

測定	オーラル・ディアドコキネシス(発音回数の自動カウント)(1秒あたりの回数)	
測定時間	5秒	
電源	単4乾電池2本	
連続使用時間	約100時間(アルカリ乾電池使用の場合)	
表示	ご用命は	液晶表示2桁
カウントモニタ		有り
オートパワーオフ	0424MT0400	最終測定終了後、約3分
寸法	約49(W) X 164(L) X 26(H) mm	
質量	約125g(電池含む)	
付属品	収納袋	



← 収納袋

反復唾液嚥下テスト(RSST)も測定が可能なハイエンドモデルもご用意!

健口くん
(口腔機能測定機器)

T.K.K. 3350

希望医院価格:
130,000円 + 消費税



口腔機能の目安となる、“オーラルディアドコキネシス”と“反復唾液嚥下テスト(RSST)”の測定を可能にした測定器です。
マイク感度調整付きなので、様々な環境下で使用することができます。

■ 健口くん(TKK3350)仕様

測定	オーラル・ディアドコキネシス / 反復唾液嚥下テスト(RSST)
表示	グラフィックLCD
時間分解能	100 msec
電源	AC 100 V 本体電源 DC 5V(ACアダプター使用)
消費電力	約 2 W
寸法	約 190(W) × 130(D) × 50(H) mm
質量	約 500 g
付属品	マイク、外部嚥下ラップボタン、ACアダプター、収納ポーチ



いつまでもイキイキとした
毎日を過ごしてほしいから。



口腔機能(オーラル・ディアドコキネシス) 測定器

健口くんⅡ

〈コンパクト〉 〈ライト〉 〈シンプル〉

より小さく! より軽く! より易しく!

オーラル・ディアドコネシス

使いやすさがさらに進化した“TAKEI”の口腔機能測定器「健口くん ハンディⅡ」

“口唇”・“舌”・“軟口蓋”の動きを評価し、口腔機能をチェックする「オーラル・ディアドコネシス」。TAKEIの革新的技術により、簡単でより正確な測定を実現した口腔機能測定器「健口くん」&「健口くん ハンディ」シリーズは、高齢者施設様や介護予防事業所様、歯科医院様など多くの方々にご活用いただいております。TAKEIは、現場でご使用する方が、さらに手軽に、さらに快適に計測を行っていただけるよう、ハンディタイプをさらに進化させました。

コンパクト

従来機種より左右幅と厚みを短くし、手のひらにジャストフィットする設計! よりコンパクトに!!



ライト

従来機種より総質量が約2割近く軽くなりました!



シンプル

ストレートな形状はもちろんのこと、計測時一箇所のボタンで全てが操作できるシンプル構造!



正しい測定のために
本体を叩いたり指でこすったりしないでください

〈実物大〉

健口くんハンディⅡ

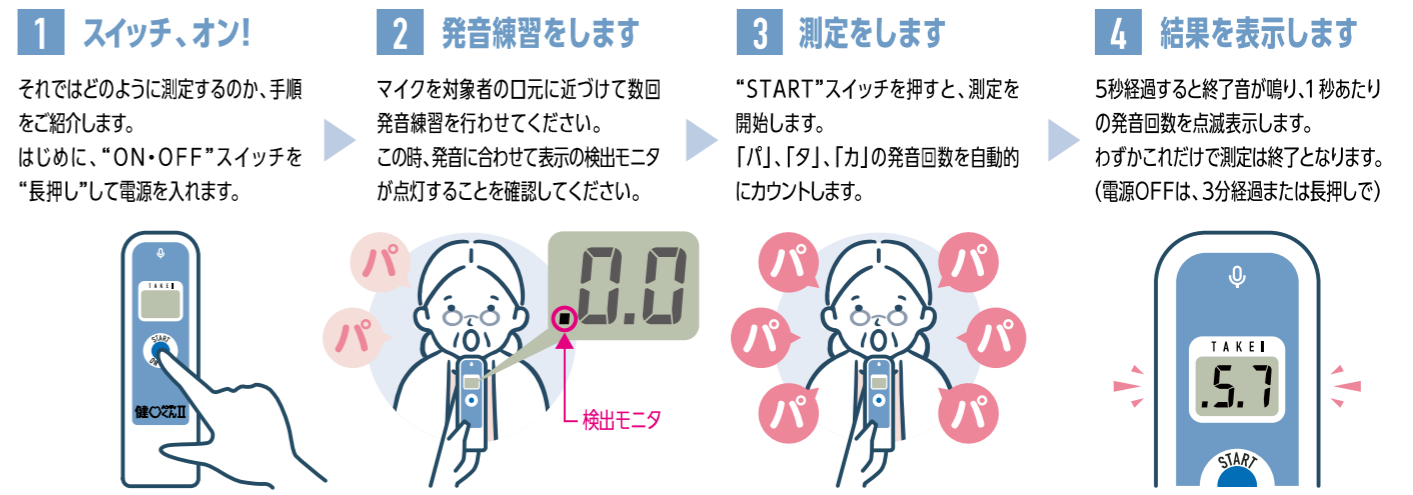
希望医院価格
49,000円+消費税

口腔機能の測定は「健口くん ハンディⅡ」で簡単測定!

オーラル・ディアドコネシス
口腔機能測定とは、「パ」「タ」「カ」をそれぞれ5秒間発音してもらい、口の周りや舌の動きを測定します。



「健口くん ハンディⅡ」は、測定時間内の発音回数を測定し、1秒あたりの回数を表示します。



参考 オーラルディアドコネシスの健常者の測定値 [平均 -1標準偏差] ~ [平均 +1標準偏差]

年齢	性別	パ	タ	カ
19~34歳	男性	5.8 ~ 8.2	6.0 ~ 8.8	5.4 ~ 8.0
	女性	6.3 ~ 8.3	6.5 ~ 8.7	5.9 ~ 8.1
35~59歳	男性	5.5 ~ 7.9	5.4 ~ 8.2	5.0 ~ 7.6
	女性	5.4 ~ 8.0	5.5 ~ 8.3	5.1 ~ 7.7
60歳以上	男性	4.4 ~ 7.2	4.2 ~ 7.0	4.0 ~ 6.6
	女性	4.2 ~ 7.2	4.4 ~ 7.2	4.1 ~ 6.7



(新潟医療福祉大学 西尾正輝准教授による一般評価基準(2008年))

(回数/秒)